

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立 浜田小学校

校長 小林 一也

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

浜田小学校では、学校・家庭・地域が互いに連携を密にすることを念頭に、学校づくりビジョンに掲げためざす子どもの姿 『自分の考えを持ち、判断できる子（考える子）』『仲間を大切にし、互いに助け合える子（やさしい子）』『めあてを持って、最後までやり通す子（つよい子）』『心の計算ができる子』を目指して教育活動の充実を図っています。これまで学校への支援等でご協力いただいている保護者や地域の皆様との活動も、より一層継続・発展させてきました。「学校の応援団」としての学習支援ボランティアの募集や運営、また、学校運営の評価をいただく組織としてコミュニティスクール(学校運営協議会)を位置づけています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

学校運営協議会では、学校教育のさらなる充実を図る組織として、3部会制「環境部会（学校の環境整備の推進）」「学習体験・学習支援部会（児童学習支援）」「地域部会（地域と学校の連携推進）」を設定しています。学校運営協議会の会議には元・現PTA会長を招聘しPTAとの連携も充実させています。

「地域の力を学校へ」という考えの中で、学習体験・学習支援と学校の環境整備のボランティアについて学校運営協議会委員長名で、学校をはじめ自治会回覧も活用して募集をしました。多くの保護者や地域の方にご登録していただいています。

(1) 教育活動の実践事例

①学習体験・学習支援ボランティアと学校の環境整備ボランティアの推進

【英語学習支援ボランティア】

英語ボランティアの3人の方々には、授業のサポートやネイティブに近い発音で、英語の魅力を教えてもらっています。英語に堪能な地域の方や保護者の方に子どもたち一人一人への声掛けをしていただくことで、子どもたちが苦手意識を持つことなくスムーズに英語学習活動をすることができました。



英語の会話テスト

【自然教室御在所登山ボランティア】

保護者・地域ボランティアの皆さんには5年生の登山体験の安全確保をしていただき、東芝山岳会を中心とした方々の登山実践レクチャーを受けたり、四日市西警察署署員の協力を得たりしながら、無事に参加者全員山頂まで登りきることができました。今年度は自然教室での四日市市少年自然の家での宿泊はかないませんでしたが、貴重な登山体験をすることはできました。次年度も引き続き協力を依頼する予定です。また、次年度は、自然教室説明会に東芝山岳会の方に来ていただき、荷物の作り方や登山をする時の

心得も話をさせていただく予定です。



登山の様子

【学習体験ボランティア（地域の祭りや行事「舞獅子」）】

今年も運営協議会委員でもある南浜田地区の獅子舞保存会の方に伝統行事である「富士の巻狩り」の猪や被り物、衣装、「浜田大山車の舞獅子」を見せてもらいお話も聞かせていただいています。

児童は南浜田公開所へ赴き、実際に獅子頭に触れながら地域の祭りについての理解を深めることができました。



【学習体験ボランティア（地域の素材を生かして「木工」）】

地域の方から製材した木っ端の提供を受け、4年生の図工科「ギコギコクリエイター」で木の素材を活かした工作に取り組みました。地域の方々をゲストティーチャーにも招き、のこぎりの使い方のご指導を受けながら、子どもたちは思い思いの作品を仕上げることができました。



のこぎり引き

【学校の環境整備ボランティア（除草作業）】

運動会の入退場で使用する運動場と浜田公園出入口を学校運営協議会からの呼びかけで、除草作業をしました。学校運営協議会委員をはじめ学校運営協議会からの緊急ボランティアの呼びかけにより、保護者の方や地域の方にもご参加していただきました。



除草作業



読み聞かせ



太鼓クラブ

【その他の支援活動】

小中合同の避難訓練（市民広場までの避難訓練）の避難安全見守り（今年度は中止で、1年生のみ引き渡し訓練となりました。）地域の方による各学級への読み聞かせ活動、クラブ（茶道、グラウンドゴルフ、和太鼓、手芸）活動支援、登下校の見守り活動など、

多くの地域の方々にご支援いただいています。

②地域への貢献活動

【美化委員会：浜田公園花壇整備】

校長先生が種から育てた花の苗や公園管理課からいただいた苗を浜田公園花壇やプランターに植えて、公園や学校と道路を隔てたフェンス沿いにプランターを並べて花の色どりある環境づくりをしています。美化委員会が水やり、草抜きなどの世話をしています。



美化委員会朝の水やり

【3年生：「鶉の森公園桜まつり」行燈制作】（今年度は中止となりました）

【地域行事への児童参加のよびかけ】（土曜授業：地区運動会、社協・自治会行事：そうめん流しと金魚すくい、もちつき）⇒今年度はいずれも中止となりました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

学校運営協議会では、コロナ禍の中での学校の取組をご理解いただき、学校運営に関する支援や次年度の方向性について意見交換をしていただきました。委員の皆様は、年間を通して、「学校公開」・「はまだっこ運動会」・「6年学習発表」、そして「6年生を送る会」などさまざまな学校行事を通し、「はまだっこ」の姿を実際に見て、より具体的なお話をいただき、学校をよりよくすることにつながっています。

また、学校運営協議会委員長名でボランティアの募集を行い、環境整備ボランティア、学習ボランティア、登山ボランティアなど学校支援ボランティア活動が充実してきました。中には、登山やのこぎりなど危険を伴う学習活動がある場合、委員の方から「声をかけてくれたら学習支援に行くよと言ってきている地域の人たちがいる」と教えてもらい、実際の学習の場に参加支援していただくことができました。

さらに、毎日の登下校時に地域の方の見守りを依頼しています。児童や職員の安全・防災意識を高めることができます。特に主任児童委員をされている委員のおひとりには、四日市市交通安全指導員に委嘱されており、またもう一人の主任児童委員をされている委員の方も民生委員にお声をかけていただき登下校中の子どもたちの見守りを強化していただいています。

3 今後に向けて

学校運営協議会委員による「学校評価」において、コロナ禍の中での学校の取組についてご理解をいただきました。一方で、今後のICT化の推進や「できることをあきらめず」安全で安心な学校を感染予防対策等も含め引き続き取り組んでいくこと、自ら困り感を言えない子へのサインを察し寄り添っていくことなどの提言をいただきました。また、学校の様子は、HPや学校だよりの地域回覧などで発信し、今後も引き続き充実させていきます。学校運営協議会の活動紹介については、学校支援・学習支援ボランティアの拡充を含めて、その活動の様子を保護者・地域へ発信し、より充実させていこうと考えています。